



JICA-SATREPS プロジェクト
ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と
新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト



プロジェクト活動本格開始に向けて；キックオフミーティング開催！
(2019年11月7日)

今年の4月からプロジェクト活動は実質上開始しているのですが、この度ベトナム政府側のプロジェクト文書承認が得られたことを受けまして、改めましてプロジェクトのスタートを高らかに宣言しようと、11月7日プロジェクトキックオフミーティングを開催しました。ベトナムにおけるプロジェクトカウンターパートやパートナー機関はもちろんのこと、今回は在ベトナム日本大使館や保健省、JICA 本部からの出張者などからも多くの参加を得ました。また、ハノイに研修旅行に来ていた金沢大学医学部の学生さんにも参加頂きました。



ベトナム国立熱帯病病院 (NHTD)・Thach 院長による開幕の挨拶



プロジェクト Output 3 で実施する免疫学的研究のしくみも含めた解説を頂いた熊本大学・滝口先生

カウンターパートである国立熱帯病病院 (NHTD) がハノイ市郊外に開業したばかりの新病院、NHTD Dong Anh 病院で、新しいプロジェクトの始まりを祝しつつ、集まって頂いたパートナー病院の方々に向けては、セミナーも行いました。



プロジェクトチーフアドバイザーの NCGM・ACC センター一長である岡先生



最後に皆で記念写真、今後のプロジェクト活動も頑張っていきましょう！

また、キックオフイベントの前後には、前回のプロジェクトニュースでもお伝えした、ウイルス量の高い HIV 感染者の遺伝子検査結果について、サンプルを提供した地方病院の方と結果を共有する時間を設けました。遺伝子検査に基づいて薬剤耐性を明らかにする検査室での仕事から、今度は臨床医師同士での「それでは、ART 薬をどのように変えていったらいいか？」と具体的な議論が展開されていきます。日本で流通している薬がベトナムにはまだ入ってきていない、といったような状況もある中で、現状どのような薬処方のパターン（レジメン）がベストか、日本から来た先生方からのアドバイスが共有されました。



クアンニン省総合病院の皆さんとの意見交換



ハノイ市 09 病院の皆さんとの意見交換

このキックオフミーティングを契機に、更にプロジェクト活動は加速していきます。プロジェクト関係者の皆さん、今後とも是非よろしくお願い致します！

以上